



けやきだより

No. 31

発行者：社会福祉法人みらい

- ◇日中活動事業
 - ・社会就労センターけやき
 - ・第2けやき
 - ・第3けやき
 - ・けやきカレッジ
 - ・けやき可児
- ◇共同生活援助事業(グループホーム)
 - ・生活支援センターCSポート
 - 「ぶなホーム1,2,3」「これホーム1,2」
 - 「ならホーム」「とちの木ホーム」
- ◇相談支援事業
 - ・リンク
 - ・リンク可児
- ◇放課後等デイサービス、児童発達支援事業
 - 日中一時支援・移動支援事業
 - ・サポートセンター Uライフ
- ◇企業主導型保育事業
 - ・かえで保育所

平成30年新年を迎えて

社会福祉法人みらい理事長 柴田勇夫

平成30年新年を迎えて私も年男である成年が始まりましたが、犬は飛び跳ねると言われ今年は景気が上向くと、何故か多くの不安を見ない振りをするが如くに喧伝されています。

今皆さんの最大の懸念事項は、北朝鮮の核問題、トランプ大統領の意味不明な発言などではないかと思いますが、国内での不安要素の一つは何と言っても「少子高齢化」です。

少子高齢化については、私達(少なくとも私)が生きている間に解決できるような問題でなく、この人口減少、高齢化の社会でどういう人生を送るかという個人の人生観の問題でもあります。少子化への政府の対応は、フランスでの「産めば産むほど有利になるシステム」と言われるような施策(家族手当増、三人以上産むと所得税減税及び年金加算、出産費用無料など)はなく、対策は何もされてないに等しいと言えます。

少子化に伴う大きな問題は人口減少、特に生産年齢人口(15才から64才)の減少に伴う人手不足ですが、この問題がこの地域でも顕著に表れています。

当法人でも多様な事業展開、或いは利用希望者の毎年の増加に伴う職員の確保が最重要課題となっておりますが、中々充足しないのが現状です。

31年4月以降の第2次5カ年計画を策定す

るに当たって、現在法人職員に「利用者、職員にとつて魅力ある事業所にするためには？」を主題として企画・提案を求めています。

- ① 多様化する利用者への適切な対応
- ② 職員の確保・育成・労働環境
- ③ 持続可能な法人運営

以上の三点の重要課題がある中で、利用者・職員の方々が「是非けやきを利用したい、けやきやUライフ等で働きたい」と思っているような法人にしていく為に、どのような方策があるかを考えて貰っています。近々に第2次5カ年計画を策定し、皆様に呈示したいと考えています。

国の障がい福祉関連施策では、平成30年4月までに報酬改定その他の施策が提示されます。一番の関心事であった報酬改定では、かなりの減額が予想されていましたが、関係団体及び国会議員の方々の努力もあり、0.47%増となり一応安心できる状況となりました。

また、食事提供加算(300円)も継続が認められ、これが認められない場合に現在の昼食代(230円)を大幅に増額せざるを得ないという最悪の事態は避けられました。

ただ、「放課後等デイサービス」「就労継続A型事業」について、既にガイドラインが提示されましたが、これを守っていない事業所が多く今回大幅な規制が掛けられる事となりました。

この為、事業所閉鎖、事業変換(放デイ↓日中一時)(A型↓B型)などで、利用者の混乱、最悪利用するところがないという事態も予想され、注視していく必要があると考えています。

第13回 けやき祭り開催!

平成29年11月4日(土)

平成29年11月4日(土)に昭和小学校の体育館をお借りして、第13回 けやき祭りを開催しました。当日は秋晴れの中でも時折冷たい風が吹き、肌寒さも感じる一日となりましたが、今年もたくさんの方にお越しいただきました。



たくさんのお客様の前で練習の成果を披露しました!

今年はおープニングセレモニーとして、利用者さんによって結成された「みらいの音楽隊」がいっしょに登場しました。歌あり踊りありの工

ネルギッシュなステージで会場を温めました。その後の開会式では理事長の挨拶、来賓紹介が行われ、各模範店での販売も始まりました。今年もけやきで作ったクッキーや、年々進化を遂げる保護者会の様々な飲食物、縫製品、フリーマーケット、お子様も楽しめるような射的、お菓子釣り、プラ板、そして初めての試みとなるプチメイク&マッサージなど、多くの模擬店を用意しました。



海外でも活動する多治見少年少女合唱団

ステージ発表は、例年通り歌やダンスなどで祭り全体の雰囲気盛り上げてもらいました。今年も、多治見少年少女合唱団に出演していただきました。これまで何度か別のイベントでみらいの音楽隊とコラボレーションしていたいただきましたが、けやき祭りに参加いただくのは初めてのことでした。大迫力かつ研ぎ澄まされた歌声に、各模範店のスタッフや会場の方々も買い物の手を止めて酔いれました。



うながっぱクイズで勝ち残りました!

また、例年利用者さんに大人気の保護者会によるパン食い競走も行われ、会場のお子様など100名程の方に楽しんでいただきました。今年も多治見市のマスコットキャラクターである「うながっぱ」も応援に駆けつけ、うながっぱクイズと写真撮影会を行ってくれました。最後は飛燕タジミの皆さんがよさこいを披露し、途中からは利用者さんと一緒に踊って大盛り上がりの中に第13回のけやき祭りはフィナーレを迎えました。

今回も、けやき祭りを行うに当たって利用者さんからテーマを募集しました。昨年の「みんな笑顔でまんなるスマイル」に代わって、今年「みんなで伸ばそうけやきの樹」というテーマで行いました。

最後になりましたが、当日ご協力をいただいた関係機関の皆様、また来場していただいたすべての方に対し、御礼申し上げます。ありがとうございます。

けやき 板津貴之



利用者さんの仕事②

お子様にも大人にも大人気！射的の仕事をしました



利用者さんの仕事①

商品化した手作り豆腐を初めて販売しました



利用者さんの仕事④

ステージの司会進行をしました



利用者さんの仕事③

自分たちで作ったクッキーを販売しました！



利用者さんの仕事⑥

輪投げの仕事頑張りました！



利用者さんの仕事⑤

自分たちで作った縫製品を販売しました！



自分たちもお祭りを楽しみました！



ステージ出演者の方に誘われて一緒にダンス！

初めてのクリスマス会

かえで保育所にサンタがやってきたところからクリスマス会が始まりました。サンタが部屋に入ってきた時、子どもたちは泣くのも忘れてしまうほどサンタから目を離せず、「メリークリスマス！」という声だけが保育所に響きました。サンタから一人ひとりプレゼントを手渡ししてもらい、袋を自分で必死に開けて、出てきたおもちゃに目を輝かせていました。

クリスマス会の日、子どもたちが自分で飾り付けた三角帽子を一日かぶってクリスマス会を盛り上げました。昼食はいつもと違ったランチオンマツトを敷いて、クリスマスメニューをたくさん笑顔で食べました。

3時のおやつは、オーナメントが輝くクリスマスツリーを囲んでケーキを食べました。生クリームを手や顔中につけて平気で食べる子、ケーキを倒さないように少しずつ食べる子、様々でしたが、みんな完食しました。



理事長サンタがやってきました

4月は6人でスタートしたかえで保育所ですが、今では11人に増えてとてもにぎやかなクリスマス会になりました。

かえで保育所 岡野美穂

Uライフ クリスマス会

今年もUライフに冬休みがやってきました。1年に1度のクリスマス。プレイルーム内は事前に準備をして、クリスマス用に模様替えをしました。キラキラした天井や、壁面に飾った装飾品等で室内は華やかになりました。クリスマスツリーは、利用者さんに手伝ってもらいました。

12月25日、待ちに待ったクリスマス会。みんな「サンタさん来るかな?」「プレゼントあるかな?」と嬉しそうに話していました。始めにマジックシアターショーを〇×形式で行いました。アイスクリームが：なんとクリスマスツリーに変身。驚きを隠せず口を空けている利用者さんもたくさんみえました。

次は、みんなで歌いながら楽器を演奏しました。太鼓を力強く叩く男性の利用者さん、鈴を優しく鳴らす女性の利用者さんの姿が見られました。演奏中にはサンタさんがやってきました。会場はその日一番の歓声が上がりました。サンタさんからのプレゼント配布。みんな、サンタさ

んの話をしっかり聞き、名前が呼ばれると大きな声で「はいっ」と返事をしていました。また、サンタさんへ「ありがとう。」と感謝の気持ちを言葉で伝える姿もありました。

15時のおやつ時間は、一人ひとりスポンジケーキにトッピングをして、美味しくいただきました。

Uライフ 佐藤弘幸



大好きなサンタさんと記念撮影

けやきカレッジ就職者状況報告

けやきカレッジは平成25年にスタートし、もうすぐ6年目に突入しようとしています。社会に出て働きたい、自立した生活を送りたいという夢を持った利用者さんたちが、毎年入ってきてはカレッジから巣立っていきます。カレッジから就職した人は合計で38名になりました。そのうち、34名が就労継続中で、残りの4名は離職されました。離職者のうち1名は現在カレッジで再就職を目指しており、1名はA型事業所、2名はけやきを利用していません。カレッジ開所から平成30年1月現在までの就職状況を報告します。

カレッジから就職していった方たちは、みなさん自分の仕事や会社に誇りを持って働かれています。例えば、清掃の仕事をしている方は、広いフロアの清掃をすべて任され、毎日優先順位を自分で考えて掃除をしています。また、アパレル会社で働かれています方は、就職してから会社の方にアドバイス

をしてもらい、自社製品を購入してとてもオシャレになりました。物流会社で働かれている方は、休まず真面目に仕事をしているのでとても頼りにされていて、残業を任されたたくさん稼がせてもらっています。

就職は、できたからと言ってそこで終わるわけではありません。カ



余暇支援（スマイル活動）で、新年会を行いました。スマイルは就職者の方の定着支援としても機能しています。

レッジから就職した方で、長い方だと就職してもうすぐ5年目を迎えます。ずっと順調に働いている方もみえますが、環境の変化やケガ・病気、人間関係のトラブル等、就職してから問題が起きることもあります。ずっと働き続けるということなどは、とても難しい、大変なことなのです。カレッジの就職者の方は、職場定着率が89%を越えています。厚生労働省の資料では、知的小および発達障がいの方の職場定着率は、就労後1年時点で70%前後なので、カレッジ設立以来この数字がキープできている

というのは、みなさんが長く働かれていることの証明と言えます。私たち職員は、利用者さんの「就職」という夢を実現するために支援をしてきました。そして、これからも、みなさんがずっと働き続けるために、支援をしていきたいと考えています。就職してからも困ったら相談してもらえよう、いつでも遊びに来てもらえるような事業所を目指しています。

けやきカレッジ 山本亜弥

企業名	就職者数
社会医療法人厚生会 多治見市民病院	1名
生活協同組合 コープぎふ	1名
中部薬品 株式会社	2名
社会福祉法人 サンライフ ジョイフル多治見	3名
中部興産 株式会社	2名
株式会社 AOKI	3名
タカラスタンダード 株式会社 岐阜工場	3名
日本郵便株式会社 多治見郵便局	2名
多治見公共職業安定所	1名
株式会社バロー 可児青果センター	1名
株式会社 ジーユー	2名
高周波熱錬 株式会社	1名
県立多治見病院	3名
株式会社 ユニクロ	1名
東濃信用金庫	2名
株式会社 ニチイ学館	1名
社会福祉法人 多治見清涼会	1名
株式会社 Wink	3名
株式会社 アバンセラライフサポート 四季彩多治見	1名
合計	34名

※平成30年1月31日現在の就労継続者数

豆腐屋けやき「営業中」

11月から第3けやきの事業として、利用者の方々とともに木綿豆腐の製造、販売を始めました。けやきの豆腐は、岐阜県産の大豆、「ふくゆたか」を使用した、昔ながらの手法による手造り豆腐です。

豆腐は、一丁一丁愛情を込めて大切に製造しております。初めは豆乳に凝固剤を混ぜても固まらなかったり、逆に堅くなり過ぎたりと商品と



水に浸した大豆をすり潰す機械です

呼べない豆腐でした。法人内外の多くの方々に試食をして頂き、様々なご意見を頂戴しながら試行錯誤を繰り返して現在の木綿豆腐に行き着きました。手造りのため、多少、形にばらつきはありますが、大豆の風味のする昔なつかしい豆腐になりました。

昨今の豆腐は苦汁（にがり）を使用した豆腐が多く、甘みの強い物と



一回の工程で24丁の豆腐ができます



けやき豆腐の完成。一度ご賞味下さい！

なっていますが、苦味やえぐみがある物もあります。けやきでは苦汁を使用せずに、戦後によく使われていた「すまし粉」を使用しています。大豆本来の風味を大切にしたい豆腐となっています。味の含みの良い、調理に向いた豆腐です。鍋物や煮物に最適です。ぜひ一度ご賞味下さい。今現在は、絹ごし豆腐と油揚げに挑戦しております。毎日、利用者様と上手くできているか、ドキドキしながら試作を繰り返しています。豆腐製造は経験や技術が必要ではありませんが、利用者の方々の仕事として職

員と共に頑張っております。絹ごし豆腐も油揚げも木綿豆腐同様に岐阜県産大豆を使用しており、油揚げは一枚手揚げしており手造りにこだわった、風味の良い物を目指しています。近々販売予定ですので木綿豆腐同様、ぜひご賞味下さい。宜しくお願い申し上げます。

第3けやき 田中健

けやき保護者会のページ

未来を想い描いて

太田 陽子

娘の百香は2536kgで、予定日の2週間前に生まれました。頭の大きな可愛い子でした。昭和56年7月27日午前0時1分月曜日が、百香の生まれた日です。

看護師さんが、「名前が決まったよ。とても小さくて、お風呂に入れると桃みたいだから、みんなで『ももこ』って呼んでるよ。」と話してくださいました。名前を考えていたときだったので、もう何人かの人に呼ばれている『ももこ』にしたいと

思いました。隣の部屋の人が桃子だったので、一字変えて百香にしました。

誕生直後に泣くかどうか気がかりでした。小さな高い声で一声泣いたので、ほっとしました。五体満足かどうかも聞きました。

百香は、おっぱいから直接お乳を飲むことができませんでした。搾乳した母乳を小さな哺乳瓶に入れて飲ませました。看護師さんに教えてもらって、口に入れた哺乳瓶を軽くはじいたり、揺らしたりしました。毎日2時間おきに飲ませるのですが、飲み終えるのに1時間かかりました。

熊谷産婦人科の先生は、百香の足首の関節を動かして、関節が異常に柔らかいことを指摘されて、「先天性染色体異常かもしれない」と言われました。血液を採取して、検査に出しました。トリソミー21型ダウン症候群でした。先のことを考えると不安になるので、その時から私は今だけを考えて生きることになりました。今を一生懸命生きればいいのかと。

幸い主人も、義父も義母も、百香

をととても大切にしてくれましたが、百香の成長と共に、課題が見え、壁が立ちほだかりました。

年中の終わりから、主人と一緒にアメリカで生活することになりました。百香はペンシルバニア州ペンステイトのパークウェイ小学校の特別支援学級に入りました。指導も具体的に、先生もとても優秀な方でした。

百香のおかげで、ピクニックに誘われたり、お友達誕生会に参加したりしました。担任の先生が、「百香は英語で質問されると日本語で答えている」と話してみえました。10ヶ月間でしたが、アメリカでの暮らしは、私の百香に対する考え方を改めてくれました。障がい児を生んだことで自分を卑下していましたが、大丈夫なのだと思うようになりました。百香もこの世に出て、楽しく生きることができるとのこと。

しかし、日本の小学校は、優しいところではありませんでした。百香が楽しいと思えばと話す「無理だ」と言われました。私にも仕事を辞めて子育てに専念するように言われました。初めて行ったアメリカの

小学校でも聞いたことのないようなことばをたくさん聞きました。ただ、支援学校の先生はとても優しい方で、亡くなるまで家族ぐるみのお付き合いをさせて頂きました。

私は、この当時は今を生きることので精一杯で、まだ先のことを考えることはできませんでした。

百香が学校を卒業すると、私は可児市に異動になりました。その後、支援学級を担当する機会を得ることで、特別支援教育の研究会に出かけるようになり、サークルにいくつも参加して、何が大切なのかを学びました。

百香が中学校を卒業する時に、可児市に初めて障がいのある子が通える作業所ができました。特別支援学校を出ても、その後の先がないのではと心配して、作業所（ふれあいの里可児）に通わせることにしました。

ある研修会で、自閉症のお子さんを育てられた方のお話を聞く機会がありました。その方の支援を受けながら、担当している子どもたちの保護者への啓蒙活動や研修会を開きました。百香たちのために、余暇支援

の活動を立ち上げました。

小さいことでも毎日繰り返していることで大きな活動ができることや、多様な活動や多くの人と接することで子どもが世界が広がっていくことなどができました。今まで無理だとあきらめていたことでも、小さなステップから取り組めば必ず目標に到達できることを知りました。周りにいる人の考え方ひとつで、その子の将来も変わってくることを。責任重大です。

百香は、昨年5月、20年通ったふれあいの里を卒業して、けやき可児に入りました。けやきには、百香の望む生活があったからです。百香にいつも話していることがあります。「願ったことは必ず叶う」と。「この世の中は、人の強い願いが形となつてきている。『こうなりたい』という願いをもって生きることが大切だ」と。私は、百香のこれから作るためにも、一つずつ、新しいステップ作りをしていかなければと考えています。

けやきへご寄付等戴いた方たちのご紹介 (30年1月現在、順不同)

※敬称は省略させていただきます

寄附金等を戴いた方

(有)丸元コンフォート	(株)セキュリティハウス	(株)ウィンテック
(株)熊谷設計	11 区区長大澤忠昭	根本外科医院
渡辺道義	小境電気工事(株)	谷敏
安在比奈		

物品のご寄付を戴いた方

お名前	寄附内容	お名前	寄附内容
佐々木陶器(株)	お茶	早川可洋	ホットプレート
廣瀬恒雄	野菜	多治見少年少女合唱団	コンサートチケット
※縫製用品・中古ジーンズ等			
昭和小学校、みんなの手			

ボランティア活動を戴いた方

多治見少年少女合唱団	ピーコック	平和中学校吹奏楽部	飛燕一多治見
大嶽肇	笠瀬美里	林冬美	水野加代

編集後記

新年が明けて、過去最強クラスの寒波が日本列島を覆い、東京でも記録的な寒さが続くと連日報道されました。また、インフルエンザも大流行して、1週間の患者数が過去最多となったと言われております。

多治見はどうかと言いますと、朝晩の気温が氷点下の日が続くなど、久し振りに冬らしい冬がやって来たといったところでは、インフルエンザにつきましては、法人みらいでは各事業所職員を含めても数名ずつの発症で収まっております。今後も注意喚起を続け、元気にこの冬を乗り切っていきたいと思っております。

話は変わりますが、4月21日(土)に「けやき可児春祭り」を開催いたします。昨年は夏祭りとして行いましたが、今年は春に変更となりました。時間は11時から14時までです。場所はけやき可児の駐車場で行います。地域の皆様に楽しんでいただくため、ステージ発表、模擬店、ゲームと昨年の反省も活かして準備を始めており、昨年好評であった豪華景品の当たる抽選も計画しております。皆様のご来場を心よりお待ちしております。